

介護サービスの質の評価指標の開発に関する調査研究事業

株式会社三菱総合研究所

介護サービスの質の評価については、介護報酬改定検証研究をはじめとしたこれまでの調査研究において、複数存在する介護サービス利用者の状態の評価に用いられるアセスメント指標の読み替え等について検討を行うなど、現場での収集可能性も踏まえつつ、サービス横断的なデータ項目の開発が行われてきた。

一方で、事業所等により提供される介護サービスの質の向上を図るためのPDCAサイクルでは、介護サービス利用者の状態の変化についてのフィードバックを受けることにより、提供サービスの内容の見直しや改善等を行うことで、ケアの質の向上につなげることが可能となる。上記のようなPDCAサイクルを回していくためには、介護サービスの質を反映すると考えられる、介護サービス利用者の状態の変化を捉えることができる指標の開発が必要不可欠である。

そこで、本事業では、利用者の状態の変化を評価することが可能な指標の開発を目的に、以下の4点を実施した。

1. 評価指標案を作成するにあたって必要な項目の整理

利用者の状態の変化を評価することが可能な指標の開発を目的に、過去の事業の成果も踏まえ、介護サービスの質の評価について体系的な整理を行った。具体的には、MDS方式（インターライ方式）等の、諸外国の評価指標に関するこれまでの文献調査結果に基づき、評価指標に活用できる項目を検討し、それらの項目の作成に必要なLIFE項目を洗い出した。

2. 事業所等へのフィードバックに使用する評価指標案の検討・作成

事業所等へのフィードバックの実施可能性を検討するために、LIFEに収集されるデータから評価指標を作成し、LIFEを介して施設・事業所等にフィードバックする方法等の実現可能性について、整理を行った。具体的には、1.の結果をもとに、指標自体の重要度と、算出に用いるデータが事業所等において把握することが容易か否かの観点から、WGの有識者らからの助言を得つつ、評価指標案について事業所等へのフィードバックに使用できる可能性を検討した。

3. 評価指標案の算出に必要なLIFE項目の整理

LIFEに収集されるデータから評価指標を作成するために、LIFEを介して施設・事業所等にフィードバックする方法等の実現可能性について、整理を行った。

具体的な調査方法としては、2.の結果をもとに、フィードバックに使用できる可能性の高い評価指標案について、具体的な算出アルゴリズムや算出に必要なLIFE項目等を整理した。

4. 事業所等へのフィードバックにおける評価指標案の実装イメージ検討

フィードバックに使用できる可能性の高い評価指標案について、フィードバック票への実装イメージを作成した。